

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	各種団体補助事務	コード	担当課係	総務課庶務係
		06-01-14-12	担当者	大峠一吉
事業実施期間	設定期間なし			
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり		
	中項目	簡素で効率的な財政運営		
	小項目	その他事務管理		
	施策	総務庶務		
電話	64-1807			

事業について	
目的	住民福祉の向上
対象 (誰のために)	各種団体
内容	団体への補助(補助金、負担金)等

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助団体数	8 団体		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	736	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	453	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,189	市債		合計	0	市債	
		一般財源等	1,189			一般財源等	0	

必要人員	0.06	人		人
結果指標名	補助団体数			
結果指標量	8			
単位	団体			
対前年比	—			
事業費	1,189,000	円		円
単位当たりコスト①	148,625	円		円

結果指標名	補助団体数			
結果指標量	8			
単位	団体			
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	設定できない。	式又は説明	設定できない。
成果指標量	17年度		
対前年比	—		
到達目標値	設定できない。	到達目標年度	設定できない。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	団体の経費執行状況を確認する必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	
	市の関与の妥当性	
有効性の評価	コストの効率化	
	手段の最適化	
総合評価	職場の効率化	
	目的達成度	
コメント	成果向上の可能性	
	市民参画度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分
コメント	団体補助は義務費である。	<A~E>
		C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果